

# オーシャン競技オフィシャル連携マニュアル

# 徹底すること

(オフィシャル全体)

- 常に時間を意識する(タイムテーブルどおりのスタート)
- 時計を合わせる
- 全体の流れを熟知する
- 無駄のない無線連絡



具体的に

# レフリー

- 基本的には本部に常駐する
- 各種目開始、終了の連絡を**セクショナルレフリー**より受信する
- 対応事態発生時に対応場所へ移動する

## セクショナルレフリー

- **レコーダー**近くに位置する  
極力動かずにエリア全体の動きを掌握し指示、確認をする  
(失格通告及び up 表サインをできるだけはやく行うため)
- 各種目の開始をその都度**レフリー**へ連絡する
- **スターター**へスタートの指示をだす
- 勝ち上がり表にて up 数の確認(ビーチフラッグスはバトンの数と up 数を照合)  
と終了ヒートの消しこみをする
- 終了種目をその都度**レフリー**へ連絡する
- up 表の確認とサインをする(サインするだけでなく必ず勝ち上がり表と照らし合わせて up 数に間違いがないかを確認)

# チーフジャッジ

- オフィシャルの配置を指示する
- コース設営の指示をする
- **IRB ジャッジ**から海上における失格の有無を受信する(失格があれば失格票へ記入)
- ヒートごとに失格があった場合即時**セクショナルレフリー**へ連絡し、競技者への通告を依頼する

# マーシャル

- 各種目前にドロ表を掲示する
- 競技規則のコースが変更になった種目のみコース説明をする
- まず1ヒート目の競技者を呼び、そろい次第即時スタートラインに誘導する
- スタート後、次ヒートのラインアップの指示をする(オーシャンマン/オーシャンウーマンはタイミングをみて)
- ヒートごとに召集時の競技者数を**スターター**に連絡する
- ヒートごとに棄権した競技者のチーム名及び名前を**レコーダー**に連絡する

# スターター

- 各競技者のコース確認をする
- **セクショナルレフリー**からスタートの指示を受け、各ヒートのスタート合図をする
- スタートした競技者数を **セクショナルレフリー、チーフジャッジ、IRB ジャッジ、レコーダー**へ連絡する

# IRB ジャッジ

- **スターター**から各ヒートのスタート競技者数を受信する
- 海上における失格の有無を**チーフジャッジ**へ連絡する
- 競技者のピックアップまたは誘導は**セクショナルレフリー**と相互連絡をとる

# レコーダー

- 勝ち上がり表にて up 数の確認と終了ヒートの消しこみチェックをする
- ヒートごとに棄権した競技者のチーム名及び名前の連絡を**マーシャル**から受ける
- up 表作成後、**セクショナルレフリー**と、**レフリー**に up 表の確認及びサインを依頼する(その際必ず up 数を確認してサインしているかをチェック)、その後**総合レコーダー**へ提出する



まとめると

## 全体の流れ

